



とっとり 県政だより

Tottori Prefectural Newsletter

2022 11

特集 P2

「働く」「暮らす」をもっと自由に 新しい働き方が地域を変える

P5・6 県政トピックス

- 県版アドボカシー構築へ
- ブラジル県人会創立70周年
- 地球温暖化防止セミナー開催

DATA

県人口/543,961人
(男 260,179人、女 283,782人)
世帯数/221,659世帯
(2022年9月1日現在推計)


**県からの
お知らせ**

鳥取県の最低賃金は「854円」です

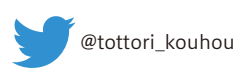
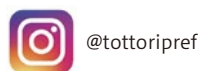
毎年10月に改定される最低賃金。鳥取県では、昨年から33円引き上げられ、時間額854円となりました。最低賃金は、年齢やパート・アルバイトなどの雇用形態にかかわらず、働く全ての人に適用される基本ルールです。事業者も労働者も必ず確認しましょう。

【賃金引き上げ支援制度などの相談窓口】
働き方改革サポートオフィス鳥取(鳥取市富安)
☎0800-200-3295 📠0857-30-7227

☎ 鳥取労働局労働基準部賃金室
☎0857-29-1705 📠0857-23-2423




米子市観光協会で働くANA客室乗務員の東さん(右)、佐々木さん(左)。SNSでは「よねこ」「ねぎた」として地域の観光情報などを発信





「働く」「暮らす」をもっと自由に

新しい働き方が
地域を変える

コロナ禍で関心が高まっている「地方移住」。テレワークを活用した「場所に縛られない働き方」は、人や企業を地方へ呼び込む大きな力となります。新しい働き方がもたらす地域活性化に期待が寄せられています。

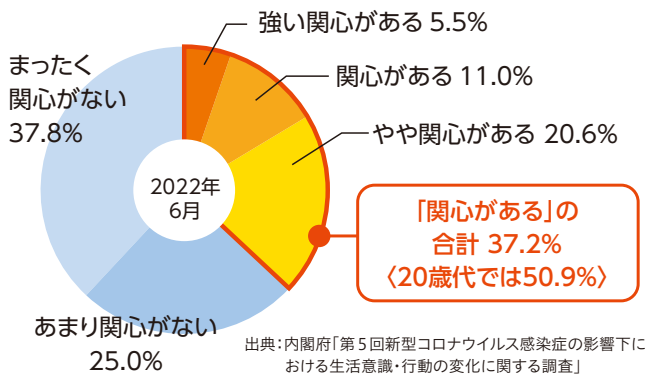
関心高まる地方移住

コロナ禍における社会環境の変化は、多くの人にとって生き方や価値観を見つめ直す機会となりました。内閣府の調査では、東京23区在住者の4割近くが「地方移住に関心がある」と回答。20歳代では5割以上が関心を示すなど、特に若い世代の中で地方への意識が高まっています(図①)。

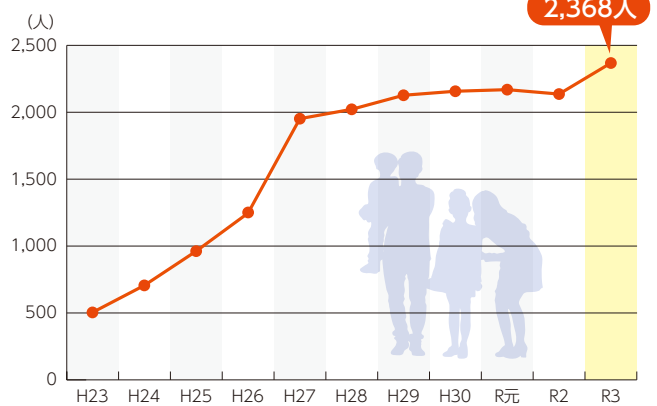
昨年度の鳥取県への移住者数も、過去最多の2368人に(図②)。コロナ禍前後における東京都からの人口移動は、全国1位の増加率(25.1%)となりました。

しかし、自然に恵まれたゆとりある環境が評価される一方、ネックとなるのが「仕事がない」「収入が下がる」といった不安。こうした懸念を解決する鍵として、今、テレワークを活用した「転職なき移住」が注目されています。

■図① 地方移住への関心(東京23区在住者)



■図② 鳥取県の移住者数の推移



ANA地域創生プロジェクト

移住者視点で魅力発信

ANAのCA(客室乗務員)業務を行いながら鳥取県に移住し、米子市観光協会職員として働く東夏海さんと佐々木陽平さん。2020年のANA入社後、各地で乗務経験を重ねてきた二人は、今年4月、米子市で兼業生活をスタートしました。

プロジェクトへの参加に「全く迷いは無かった」という二人。県内に親族が住む東さんは、縁ある鳥取の力になればと持ち前のフットワークの軽さで即断。一方、地方創生に関心を持ち、一時は地域おこし協力隊への道も考えていた佐々木さんにとっては、夢を実現する絶好のチャンスでもありました。

月に10日程度勤務する観光協会では、SNSの情報発信や魅力づくりを担当。モダンアートが楽しめる「彫刻ロード」のPRや、米子の酒蔵の多さに注目し、お酒と食材の素敵な「マリアージュ」を提



米子市観光協会
ささき ようへい
佐々木 陽平さん

米子市観光協会
あずま なつみ
東 夏海さん



案する企画などを進めています。米子の水の美味しさや自然の豊かさ、景色の美しさは格別と話す二人。当たり前の日常にある素晴らしい魅力を、移住者ならではの視点で伝えていきたいと笑顔で語ります。

東さんは学生時代、機内で一人一人に寄り添う接客に感動したことをきっかけに、佐々木さんは全国47都道府県を旅した経験から、日本各地の魅力を伝え、心躍る移動時間を提供しようとCAを志しました。移住・兼業の経験は、サービス業の土台となる人間力を高め、多様な観点を育む貴重な機会となっています。

CAとしても観光協会職員としても、地域の魅力を発信し、人々に喜びや感動を届けたいという気持ちは共通。意欲あふれる二人の活躍に、期待が高まっています。

広げよう新しい働き方

「転職なき移住」とは、現在の都市部での仕事をテレワークで行いながら地方に移住すること。今までは、毎日職場に通える場所に住むことが当たり前でしたが、コロナ禍によつてテレワーク環境が一気に充実。労働者のテレワーク利用率は3割を超えるなど、場所に縛られない働き方が急速に普及しました。働く場所や住む場所を自由に選ぶことができれば、住環境や子育て環境、余暇の充実など、私生活のさまざまな希望を実現することが可能に。多様なライフスタイルを送りながら、より多くの人が活躍のチャンスをつかむことができます。

こうした新しい働き方を広げていくため、県ではANA(全日本空輸株式会社)と連携した移住プロジェクトを推進しています。ANAのCA(客室乗務員)として働く10名が東京から移住し、CA業務を続けながら副業として県内企業の仕事にも従事。本業で培った経験やスキルを生かし、情報発信や観光振興の分野で活躍しています。

地域の活力 生み出す拠点に

ワーキングガレージSISU
(倉吉市清谷)
岩世自動車株式会社
代表取締役

いわせ しょう
岩世 祥さん



シェアオフィスやコワーキングスペースなどを一体的に整備した「とっとりワークプレイス」。倉吉市で自動車販売・整備業を営む岩世祥さんは、リモートワークの広がりや地方分散の流れを機に、所有ビルの一部を改装した「ワーキングガレージSISU」をオープンしました。コワーキングスペースは仕事や地域活動などに幅広く利用され、シェアオフィスは新規起業家や県外企業が活用。入居企業のビジネスマッチングなどもサポートしている岩世さんは、こうした新しい試みが波及し、既存企業の間にも新たな交流や連携の動きが生まれていると話します。また、電気自動車とキャンピングカー

の安価なカーシェアもSISUならではの魅力。ビジネス利用の他にも、車を持たない県外の人に自然豊かな鳥取の素晴らしさ、暮らしやすさを感じてほしいという願いが込められています。

施設名の「SISU」とは、フィンランドの幸福度の高さを支えるマインド。困難に直面しても折れない「しなやかで強い心と体」を意味しています。「多様な働き方やワーク・ライフ・バランスの実現を推進し、地域に拓かれた拠点を狙いたい」と意気込む岩世さん。コロナ禍を乗り越えた豊かな未来に向け、SISUから賑わいと活力を生み出していきます。



1階のコワーキングスペース(上)には集中できる個室(右上)も完備。2階にシェアオフィス、3階に多目的スタジオ(右下)がある



サインイン コワーキングオフィス (境港市上道町)

地域内外の人々の協働により、地域活性化や新たなサービスの提供を目指す

※詳細はウェブサイトをご覧ください
<https://www.pref.tottori.lg.jp/workplace/>

とっとりワークプレイス



トベルモ
ToBelmo(鳥取市湖山町北)
鳥取大学から徒歩3分。事業者・大学・学生の交流を促し、連携や起業につなげる

問 県庁ふるさと人口政策課(移住施策・関係人口) ☎0857-26-7652 📠0857-26-8196 ✉jinkouseisaku@pref.tottori.lg.jp
県庁立地戦略課(とっとりワークプレイス) ☎0857-26-7566 📠0857-26-8117 ✉ritti@pref.tottori.lg.jp

人の流れで地域に活力を

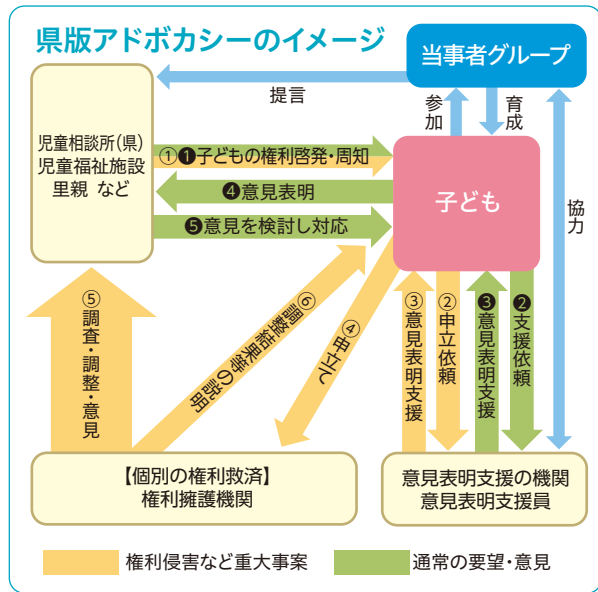
今、社会ではテレワークを成長の機会と捉える企業が増加しています。住む場所に関係なく働ける環境があれば、世界中から優秀な人材を登用可能。社員のワーク・ライフ・バランスも充実し、パフォーマンスの向上や離職率の低下が期待できます。

こうした流れは地方にとっても大きなメリット。若い世代の人口流出を防ぎ、都会から人や企業を呼び込む大きな力となります。多様な人の流れがもたらす刺激や活力は、新たな産業や地域づくりにつながる土壌。オフィスとコワーキングスペースが一体となった県内3ヶ所の「とっとりワークプレイス」は、ビジネスや地域交流の拠点として、県内外の人々に活用されています。

働き方が変われば、生き方の選択肢が広がり、地域社会の可能性も広がっていきます。県は、多様なワークスタイルを通じて、地域に賑わいと活力が生まれる未来を目指しています。



子どもの意見表明をサポート ～県版アドボカシー構築へ～



○子どもの力信じて

子どもアドボカシーを推進する県内児童養護施設等の当事者団体「Hope & Home」は、2019年に結成。昨年8月に子どもの権利に関する学習会の公聴会が開かれ、子どもたちが施設長や児童相談所長らを前に、施設のルールや児童相談所担当者・施設職員



Hope & Home世話人
ふじの けんいち
藤野 謙一さん

の異動などに言及した7つの提言を行いました。子ども目線の鋭い提言に、会場の大人たちは目を見張りました。

H&H世話人で鳥取こども学園(鳥取市)園長の藤野謙一さんは「大人は、子どもに意見を言う力があることを信じきれていない」と指摘します。17年に子どもアドボカシーモデル機関のあるカナダ・トロントで行われた子ども主導の模擬公聴会に高校生を引率して参加した際は、研修を経て子どもがしっかりと自分の意見を述べる姿を目の当たりにしました。

「徹底的に子ども側につき、子どもの声を大人に届けるサポートをするのがアドボカシー。一人一人の声から、子どもを支える全体の仕組みの改善につながっていけば」と県版アドボカシーに期待しています。

社会的に弱い立場にある人たちの声が届けられ、それを実現する「アドボカシー」。県は、児童養護施設などで生活する子どもの意見を第三者がくみ取り、意見表明をサポートする「県版アドボカシー」の来年度からの実施に向けて準備を進めています。

6月に成立したこども基本法は、基本理念の一つに子どもの意見表明権を明記しています。心の中を整理し大人に伝えるのが容易ではない子どもをサポートし、この権利を保障する

のがアドボカシー制度です。県では専門家や児童養護施設、児童相談所や社会的養育経験者などで県版アドボカシーの仕組みについて検討してきました。計画では、第三者である「意見表明支援員」が施設の生活のルールや職員の対応への不満や希望などに耳を傾け、一緒に考えながら子どもが意見表明できるように支援することとしています。虐待など重大事案の場合は、権利擁護機関が調査・調整する救済制度も設けます。



子どもたちから7つの提言が示された公聴会＝昨年8月、鳥取市内

10月から一時保護施設で試験運用を始め、「アドボカイト」とも呼ばれる意見表明支援員の養成研修も計画されています。

11月児童虐待防止推進月間

子どもを虐待してしまいそうな時、虐待が疑われる子どもを発見した時は相談窓口へお知らせください。

■児童虐待・子育ての相談窓口
児童相談所虐待対応ダイヤル

☎189(いちはやく)(通話無料、24時間)

中央児童相談所 ☎0857-23-6080 ☎0857-21-3025

倉吉児童相談所 ☎0858-23-1141 ☎0858-23-6367

米子児童相談所 ☎0859-33-1471 ☎0859-23-0621

受付時間：(月～金)午前8時30分～午後5時15分

(緊急時は上記時間に限らず受け付けます。)

▶▶ 県庁家庭支援課

☎0857-26-7687 ☎0857-26-7863 ✉kateishien@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/34880.htm>





BRAZIL 時代と距離超えたきずな

～ブラジル県人会創立70周年～

○広がるしゃんしゃん傘の輪

しゃんしゃん傘踊りは1982年に鳥取県からブラジルを訪れた農業研修青年派遣団が初披露したと伝えられています。西谷博元会長夫妻による指導で輪が広がり、県は延べ500本以上の踊り傘を県人会に寄贈。2008年と18年の日本移民記念式典では100人以上が傘踊りを披露するなど、ブラジル国内でも欠かせない文化芸能として定着しています。

○交流の歴史

- 1906年 鳥取県から5人がブラジルに移住
- 1926年 「第2アリアンサ鳥取村」誕生
- 1952年 ブラジル鳥取県人会設立
- 1965年 県費留学制度開始
- 1988年 技術研修制度開始
- 1994年 第2アリアンサ鳥取村への教員派遣事業開始
- 1995年 ブラジル・鳥取交流センター設置



傘踊りも披露された県人会創立65周年＝2018年7月



県庁交流推進課

☎0857-26-7030 F 0857-26-2164

✉kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/37654.htm>



ブラジル移住者の子孫らで構成する「ブラジル鳥取県人会」が、創設から70周年を迎えました。年月も距離も超えて、故郷鳥取の文化が引き継がれています。

鳥取県では1906年の5人を契機に最初の移民船「笠戸丸」(8年)などで多くの県民がブラジルへ移住。懸命に生活基盤を築いてきました。鳥取大火の甚大な被害を知った県出身者らによる義援金の募金

活動が始まり、52年にブラジル鳥取県人会が設立されました。11月下旬には、サンパウロ市で記念式典が行われます。

県は県人会と連携しながら交流事業を促進しています。県費留学・技術研修制度では鳥取県で学んだ多くの人材が各地で活躍。現地への教員派遣による日本語文化の継承、サンパウロ市内へのブラジル・鳥取交流センター設置など、切れ目のない支援が行われています。

地球にゼロカーボンにチャレンジ

～地球温暖化防止セミナー開催～

地球温暖化防止セミナー

【日時・場所】

- ・11月22日(火)午後1時30分～午後3時30分
NPO法人エコパートナーとっとり事務局(株式会社エスジーズ内)米子市東山町
- ・11月24日(木)午後1時30分～午後3時30分
県生涯学習センター(県民ふれあい会館)鳥取市扇町
※オンライン参加可、後日オンデマンド配信あり

【講演】

全国地球温暖化防止活動推進センター事務局長 平田裕之氏
「1.5℃達成への道のり～COP27エジプト会議から～」
受講申し込みはこちらから
<https://www.t-ccca.org/news/632/>



とっとりエコライフキャンペーン

「省エネ家電買い替えチャレンジ」など抽選で豪華賞品が当たる各種キャンペーンを展開中
<https://tottori-zero-carbon.jp/>



県庁脱炭素社会推進課

☎0857-26-7205 F 0857-26-8194

✉datsutanso@pref.tottori.lg.jp



酷暑や度重なる豪雨、大雪。気候変動を引き起こす地球温暖化は、私たちの身近な生活にも大きな影響をもたらしています。

温暖化の原因とされる温室効果ガスの大部分は、石油などの化石燃料使用で発生する二酸化炭素です。県は2022年、温室効果ガスを減らし「ゼロカーボン社会」を目指す「とっとりエコライフ構想(愛称:トットリポーン!)」を提唱。環境と健康を守りつつ快適なライフス

スタイルに変える考え方です。

11月22日(火)、24日(木)開催の地球温暖化防止セミナーでは、COP27(※)出席の講師が世界の最新情報を伝えます。開催中の「とっとりエコライフキャンペーン」には手軽な取り組みで環境を守るお得な情報が満載。

地域の未来を守るためゼロカーボン社会実現に向けて学び、楽しみながら意識を高めていきましょう。

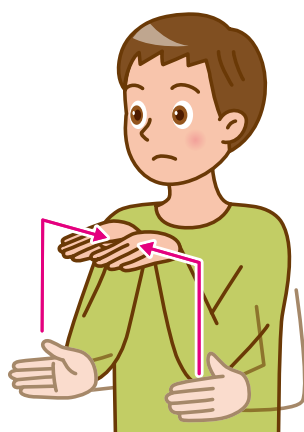
※国連気候変動枠組条約第27回締約国会議



手話を覚えてみよう ▶▶ 「病院」



左手首に右手の指先をあて、



両手で四角い建物の形を描く

11月1日は「いい医療の日」。何でも相談でき、いざという時に頼れる「かかりつけ医」をもつことが、上手に医療を受けるポイントです。

休日や夜間の診療では検査などを十分にできないことがあります。急な症状でなければ平日の診療時間内にかかりつけ医に診てもらいましょう。判断に迷った時は「とっとりおとな救急ダイヤル(#7119)」、「とっとり子ども救急ダイヤル(#8000)」を活用ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/299853.htm>



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
☎0859-30-3720 F 0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>



読者の声

(9月号の意見・感想から)

- 障がい者が暮らしやすく、不便さの少ない社会をつかっていきたいと感じました。(50代)
- 県民の日があることで、自分の町やふるさととあらためて向かい合えるのは素敵ですね。(30代)
- 夜間中学誕生のニュースが嬉しかったです。中部や西部にも学びの場が広がることを願っています。(50代)
- 野菜生活は心がけているのですが、貧血になり反省。野菜をもっと食べようと思います。(70代)
- かぼちゃのそぼろ煮に牛乳を入れるアイデアは思いつきませんでした。新しい味の発見です。(20代)



9月号には995人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



県産品プレゼント

「吾左衛門鮮蟹」(1本)【5名】

紅ズワイガニ漁獲量日本一の境港ならではの一品。ほぐし身と棒身を合わせ、やさしい口あたりに仕上げました。甘みに富んだ紅ズワイガニの身が口の中でほぐけ、ふわっと旨みが広がります。



問 米吾(米子市奈喜良) ☎0120-535-474



とっとりエコライフ構想では、温室効果ガスを減らし「ゼロ〇〇社会」を目指しています。〇に入るのは次のうちどれでしょう

ヒントは
6頁

- ①カーボン ②エネルギー ③カロリー

【応募方法】

クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。

■応募締め切り 11月21日(月)必着



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブページ応募フォーム
<https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>

10月号のクイズの答えは「③ローリング」でした。

豊富な栄養・手軽に採取



みるくレシピ

魚の臭みが消えて
身はふっくら



Milk Recipe

さばのミルクみそ煮

【協力】大山乳業農業協同組合

[材料](2人分)

- さば.....2切れ(各75g)
- 牛乳.....100ml

A

- 酒.....大さじ2
- 砂糖.....大さじ1
- みそ.....大さじ1
- 赤唐辛子(半分にして種を除く).....1本

[作り方]

- ①鍋に【A】とさばを入れ、牛乳を注ぐ。
- ②落とし蓋をして強火にかけ、ふつふつとしてきたら中火よりやや弱火で約10分煮て、そのまま冷ます。



県からの
お知らせ

会計年度任用職員採用試験(事務職)

2023年度から県で勤務する会計年度任用職員(事務職)の採用試験を行います。受験資格や試験内容などの詳細は、ウェブページ掲載の募集案内をご覧ください。

- 募集期間/11月1日(火)~30日(水)
- 応募方法/電子申請
- 試験日
 - ・基礎能力試験 別途指定する期間内に各自受験
 - ・面接試験 12月10日(土)

問 県庁人事企画課
☎0857-26-7034 ☎0857-26-8140
<https://www.pref.tottori.lg.jp/jinjikikaku/>



鹿児島の逸品をお取り寄せ

鹿児島県からの
お知らせ

鹿児島県特産品協会のネットショップ「かごいろ」は、昨年11月に「Yahooショッピング」に出店しました。黒毛和牛や黒豚のしゃぶしゃぶセット、生産量日本一を誇る鰻の蒲焼き、さつまいものスイーツなど、自慢の逸品を多数取り揃えています。お得なキャンペーンも随時実施していますので、ぜひお求めください!



問 公益社団法人鹿児島県特産品協会
☎099-223-9177 ☎099-227-0768
<https://paypaymall.yahoo.co.jp/store/kagoiro/top/>



ご家庭や学校・幼稚園、福祉施設などの除菌・衛生管理に

Medical Care Water

人と環境にやさしい微弱酸性消臭水 | メディカル・ケア・ウォーター



人の集まる場所の衛生管理、またトイレ・生ゴミ等の除菌・消臭にもご利用ください。福祉施設での導入実績もあります。希釈して使うからお得です。



老人介護施設・飲食店など様々な場所でもご利用いただいています。

専用噴霧器
プレゼントキャンペーン実施中
2023年3月末まで

6ヶ月以上
メディカルケアウォーター原液をご契約の方に、専用噴霧器を進呈いたします!
詳しくは下記までお問合せください。



■お問合せは



株式会社 エヌ・シー

〒680-0904 鳥取県鳥取市晩稲433

(一社)次亜塩素酸水溶液普及促進会議・会員



0120-673-237

*広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。